

生 物 を 見 る 目

環境条件に適応する生物の営みは極めて精巧であり、そのしくみを正しく理解し表現することは容易ではない。試験の条件設定が単純なときは簡明な結果が得られ、その結果を数式で表示することも容易であるが、多くの環境要素や栽培条件がからみ合った結果としてあらわれる生物現象全体を数式で表示することは極めて困難であり、現象の部分的な数式化はかえって全体の理解の妨げとなることさえある。

昔の育種家の中にはカンで選抜して、すぐれた品種を作出した人がある。また理論は言われないが、作物の栽培は非常に上手だという人もある。理論的な表現はできなくとも、生物の生活全体を直感的に正しく理解しているからであろう。「植物のささやきを聞きとれ」という人があるが、生物に親しみ、その姿をありのままにとらえることが生物の研究では極めて重要である。

除草剤の試験でも、濃密な観察によって作物や雑草の除草剤に対する反応をよく調べておかないと、雑草量や作物の生育収量の調査が如何に正確であっても結論を誤めることがある。推計学を用いて試験の精度を明らかにして、有意差を検定することは試験実施の基本ではあるが、雑草の生態や除草剤の試験では、定量化する手法が確立されていない植物の特性については、目でとらえてその現象と原因との関係を敏感に察知することがより重要である。

(農林省農事試験場 中 川 恭 二 郎)

目 次

昭和44年度秋冬作、45年度春夏作
芝生関係除草剤試験成績概要……………2

1. 試験薬剤の試験概要、考察
実用化に対する所見……………3

2. 科学的な芝生内雑草防除対策……………6

3. 公 害 防 止……………7
保土谷カントリークラブ

角 田 三 郎

昭和45年度林地関係除草剤
試験成績概要……………7

農林省林業試験場造林部
除草剤研究室長 真 部 辰 夫

昭和45年度桑園用除草剤、
生育調節剤試験成績概要……………10

A 除 草 剤……………11

B 生育調節剤……………12

農林省蚕糸試験場栽桑部

筋 裕 彦

お わ び

本号には、昭和45年度に実施した試験成績をもれなく収録する予定でありましたが、予算の関係上、次号(第5巻第1号)に譲らざるを得なくなりました。ここに、あらためておわび申し上げます。

なお、第5巻第1号よりは、装いを新たにし、愛読者の皆様にお目にかかりますので、何とぞ旧倍のご支援をお願いします。